

秋田工 1回戦で涙

東・教員工（福井）は敗退した。新型コロナウイルスの影響で中止が続いていた開会式を4大会ぶりに実施し、秋田工主将の大沢空（くろあ、3年）が選手宣誓した。28日は1回戦の残り10試合を行い、札幌山の手（北海道）、山形中央が登場する。（佐々木翔吾）



〈第1日〉

第103回全国高校ラグビー大会は27日、大阪府東大阪市の花園ラグビー場で開幕し、1回戦9試合が行われた。本県代表の秋田工は静岡聖光学院と対戦し、15-36で敗れた。仙台育英（宮城）や天理（奈良）が2回戦に駒を進めた。大会史上初の合同チームとして出場した若狭

焦点

相手FBの個人技に苦戦 FW優位生かせず

警戒していた相手FBに4トライを決められた。ラン主体に攻める相手に秋田工はFWの優位を生かせず、終始相手ペースでの試合を余儀なくされた。主将の大沢空（3年）は「FWの接点では手応えがあったが、守備の薄い方へパスを回され、崩された。主将である自分もつと指すを出し、引っ張らないといけないかった」と大粒の涙をこぼした。

静岡聖光学院の中心は高校日本代表候補のFB小野澤謙真（3年）。父は元日本代表の宏時さん。スピードに加え、細

かいステップも得意だ。入念に対策を練って臨んだはずだったが、相手FBの速さは想定を上回った。細かくパスをつなぎ、速いテンポで前進。前半7分に先制された。18分に突破力のあるナンバー8三浦颯太（2年）が持ち込んでトライし、5-7と追いつけるまでは良かった。攻め込みで反則を犯し、流れをつかみきれない時間が続いた。澤木賢一監督は「不要な反則で相手にボールを渡す悪い癖が出た。守備で相手に回って、流れを引き戻せなかった」と振り返った。

後半開始直後には50分以上の独走を許すなど、小野澤の個人技からの突破で連続失点。すぐ

【秋田工】静岡聖光学院 前半18分、ゴール前のラックから持ち出してトライを決める秋田工のナンバー8三浦颯太。花園ラグビー場

秋田工は速いテンポの攻撃に対応できなかった。前半7分、自陣22から細川三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい

秋田工は速いテンポの攻撃許し先制された。18分にはゴール前のラックから抜け出した三浦颯太がそのままとり出し、トライしたが、こまごまとしたトライしかし、その後もい



グレイの歴史をつなぐとして誓う」と、新型コロナウイルスの制限がなく大空を迎えられた喜びを語った。

昨年出場した際、先輩たちが一開会式やりなかつた」と残念そうに語る姿を見ていた。通常開催を迎えられた感謝と、103回まで大会を重ねてきた先輩方、関係者への敬意を込めた。



開会式で選手宣誓を行う秋田工の大沢空主将

と相談しながら考えたが、仲間たちには内容を明かさなかつた。大役を終えて列に戻る」と「良かったぞ」と語をかけた。ほっとしたという。

「自分の思いは伝えられたので100点満点。引校委員で花園に立てたことが何よりうれしい」と満面の笑みを浮かべた。